

国別WID情報整備調査

サモア

Samoa: Country WID Profile

平成 1 0 年 1 1 月

国際協力事業団

企 画 部

国別WID情報整備調査
(サモア国)

目 次

略語表	ページ
1. 基礎指標	
1-1 経済社会関連指標.....	1
1-2 保健医療関連指標.....	2
1-3 教育関連指標.....	2
2. WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み	
2-1 サモアの女性の概況.....	3
2-2 WID/ジェンダーに関するサモア国政府の取り組み.....	4
2-3 ナショナル・マシーナリー.....	5
3. 主要セクターにおけるWID/ジェンダー	
3-1 教育分野.....	7
3-2 保健医療分野.....	8
3-3 農林水産業分野.....	10
3-4 経済活動分野(鉱工業・手工業・サービス業等).....	11
4. 国際機関・その他の機関のWID/ジェンダー関連援助実績.....	13
5. WID/ジェンダー情報リソース	
5-1 関連機関、人材、NGOリスト.....	15
5-2 報告書、資料リスト.....	17
6. 参考文献.....	21
7. 用語・説明.....	22

略語表
(サモア国)

AusAID	Australian Agency for International Development	オーストラリア国際開発庁
ADB	Asian Development Bank	アジア開発銀行
BCG	Bacille Bille de Calmette et Guerin	結核予防ワクチン
CEDAW	Convention for the Elimination of All forms of Discrimination Against Women	女子差別撤廃条約
DPT	Diphtheria, Pertussis, and Tetanus	三種混合ワクチン (ジフテリア、百日ぜき、破傷風)
EPI	Expanded Programme on Immunization	予防接種拡大計画
ESCAP	Economic and Social Commission for Asia and the Pacific	アジア・太平洋経済社会委員会
EU	European Union	欧州連合
FAO	Food and Agriculture Organization, UN	国連食糧農業機関
F/P	Family Planning	家族計画
GAD	Gender and Development	ジェンダーと開発
DOH	Department of Health	保健局
GDP	Gross (Values of) Domestic Product	国内総生産
HIV/AIDS	Human-immuno Deficiency Virus / Acquired Immuno-Deficiency Syndrome	ヒト免疫不全ウイルス / 後天性免疫不全症候群
IMF	International Monetary Fund	国際通貨基金
IBRD	International Bank for Reconstruction and Development	国際復興開発銀行
NGO	Non-Governmental Organization	非政府組織
NCD	Non-Communicable Disease	非伝染病
NUS	National University of Samoa	サモア国立大学
MWA	Ministry of Women Affairs	婦人対策省 ¹
MCH	Mother and Child Health	母子保健
ORT	Oral Rehydration Therapy	経口補水療法
PHC	Primary Health Care	プライマリー・ヘルスケア
RH/FP/SH	Reproductive Health, Family Planning, Sexual Health	リプロダクティブ・ヘルス / 家族計画 / セクシュアル・ヘルス
STD	Sexually Transmitted Diseases	性感染症
UNDP	United Nations Development Program	国連開発計画
UNFPA	United Nations Population Fund	国連人口基金
UNICEF	United Nations Children's Fund	国連児童基金
UNHCR	Office of the United Nations High Commissioner for Refugees	国連難民高等弁務官事務所
UNIDO	United Nations Industrial Development Organization	国連工業開発機関
UNIFEM	United Nations Development Fund for Women	国連女性開発基金
USAID	The United States Agency for International Development	アメリカ合衆国国際開発庁
WID	Women in Development	開発と女性
WSFHA	Western Samoa Family Health Association	西サモア家族保健協会
WHO	World Health Organization	世界保健機構

¹ サモアで使用している訳語

1. 基礎指標

1-1 経済社会関連指標

経済社会指標						出典
経済指標 (1995年)	GNP/Capita	実質GDP成長率		インフレ率†	ジニ係数*	
	\$1,120	5.6%(96年)		7.0%	NA	1)
政府公共(97/98年)	保健	教育	社会保障福祉	防衛	その他	
各セクター支出内訳	8.2%	11.3%	NA	NA	NA	1)
人口(1996年中間値)	総人口	都市人口比率/全人口		人口増加率(90-95年平均)		
総人口	16万人	21.0%		2.30%		1)
女性比率	NA	NA				
産業比率/対GDP比	農業	工業(製造業に占める比率)		サービス業		
	NA	NA(NA)		NA		1)
労働人口比率(90年)	農業	工業	サービス業	援助/GNP		
総労働人口	67%	4%	29%	NA		1)2)
女性比率	73%	8%	19%			1)2)
労働関連指標	総労働人口	失業率(96年)	最低賃金	女性所得/全所得*		
全体	9万6千	3.0%	NA	NA		2)3)
女性	32%	3.0%	NA			2)3)
意思決定参加率	女性/全体			女性/全体(1991年)		
国会議員	NA			管理職	NA	2)3)
大臣(1995年)	7.0%			専門技術職	NA	2)3)
副大臣(1995年)	7.0%					2)3)
女性関連法律	制定年度		内容			
特に内容記載なし						
女性に関する国際条約批准・署名の有無				批准	批准年度	
女子に対する差別撤廃条約				済	1991	3)
WID関連政策						
National Policy on Women and Action Plan		特に内容記載なし				3)
WID関連国家組織						
ナショナル・マシーナリー名		婦人対策省(Ministry of Women Affairs、MWA)				3)
国家組織の位置付け		独立した省				3)

出典

1) World Bank, World Development Report 1997, 1997

2) UNDP, Human Development Report 1997, 1997

3) Fairbairn Dunlop@Associates Ltd., Country Profile on Women in Development, Samoa 1998

注) *についてはP.22の用語・指標説明を参照

1-2 保健医療関連指標

保健医療関連指標						出典
平均余命(1991年)	男性 63.5才 女性 65.5 才	人口増加率2.3%(90-95年)				3)
保健医療普及	医師2.9人/10万人	2.9人	人口/看護婦(士)・助産婦一人	21.6人/10万人		3)
保健医療に係る政府支出(対GDP比90年)	8.2%					1)
一才未満乳児死亡率(出生千対)*	低体重児率*		予防接種実施率	(90-95年) 一才児		
全体	42人(1996年)	7%(90-94年)	BCG	98%		1)
女児	NA		三種混合	95%		1)
五才未満幼児死亡率(出生千対)*			経口ポリオ	95%		1)
全体	53人(1996年)		麻疹	96%		1)
出産間隔・家族計画	家族計画履行率(90-97年)	21%	合計特殊出生率(1993年)*	3.8人		3)
出産介助率*	95%		初婚年齢	男性28才、女性24才		3)
妊産婦貧血率	NA					2)
妊産婦死亡率*	35人					2)
栄養状況	経口補水療法使用率*		31%			2)
ヨウ素欠乏症	ヨウ素添加塩を使用している世帯NA	栄養失調	NA			2)
地域医療(1990-96年)						
安全な水普及率	都市100% 農村77%	衛生施設普及率	都市100% 農村92%			
HIV/AIDS	HIV感染者	AIDS患者数				
統計(1995年)	0.6人/10万人	NA				1)

1-3 教育関連指標

教育関連指標					出典
教育制度	義務教育(8年)、初等教育8年				5)
公共支出に占める教育支出		NA			5)
G N P 比(1994)	4.2%				5)
成人識字率(1995年)	全体98%				3)
地域別	特に記述なし				
初等教育(1993-97年)	純就学率*	終了率			
男子	100%	NA			5)
女子	99%	NA			5)
<教育全体の問題点>男女格差は少なく、現在は不登校者の問題が顕在化している。					
中等教育(1993年)	純就学率*	終了率			
男子	47%	NA			5)
女子	51%	NA			5)
<全体の問題点>	女子の就学率の方が若干高い。				
高等教育(1993年)	就学率				
全体	NA				5)
女生徒数	NA				5)

出典

1)UNDP,Human Development Report1997,1997

2)World Bank,World Development Report1997,1997

3)Fairbairn Dunlop@Associates Ltd.,Country Profile on Women in Development,Samoa1998

4)UNICEF,The State of the World's Children,1998

5)UNESCO,World Education Report1998, UNESCO Publishing

注) *についてはP.22の用語・指標説明を参照

2. WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み

2-1 サモアの女性の概況

(女性に関するサモアの社会背景)

・伝統的家族制度

サモアでは、「大家族制」が主要な組織単位である。この共同体は、家族構成員の社会経済状況の安定、自立/自尊心の確立、精神的/肉体的健康の維持に欠かせない単位となっている。大家族制は、相互扶助と共有の規範に基づくものである。男性と女性の役割と責任はこの大家族制のなかで定義されている。

各家族の家長は「マタイ(matai)」と呼ばれ、家族内で選ばれる。マタイは家族の財産を維持する責任がある。また、マタイは家族内の諸問題を解決し、家族の共有の土地を公平に分配する責任がある。更に、村の行政/司法機関であるフォノ(fono)に家族の代表として参加することになる。

家族の構成員は男女にかかわらず、資産や土地に対し、またマタイになることについて平等な権利を有し、家族の意思決定に参加する。実際に多くの有能な女性が家長となってはいるが、男性が家長となる方が一般的である。これは、姉妹(sister)を神聖なもの、兄弟(brother)を世俗的なものとして分けて捉え、両者を相補的な関係とする文化的な規範に由来する。この相補関係は feagai ga (兄弟が姉妹を守り世話をする)という神聖な誓約に基づいている。

・女性の役割

伝統的な村のグループ構成は、下記のとおりである。女性グループとしては未婚の女性グループ(aualuma)と既婚の女性グループ(faletu a ma tausi)が存在する。各グループは、家族の幸福を守る役割を有する。未婚女性グループは、その処女性/純潔性から村のグループの中でも最も高い身分として認められている。一方既婚女性グループは、結婚によりその処女性/純潔性が失われたとされ、最も低い身分に位置付けられている。妻達は、その嫁ぎ先の村において、全く発言の権利を持たない。離婚した場合は、その女性は故郷の村に戻り、未婚女性グループに所属できる。夫の家族と姉妹の世話が妻の義務とされる。

AUMAGA -家長以外の成人男性 村の働き手、農業/保護	MATAI? 家長 行政、意思決定	AUALUMA-村の娘達 もてなし、手工業、織物業
TAMAITI-"fanau lalova oa" 子供 家事、雑務		FALETU A MA TAUSI 既婚女性 家事一般

サモアの女性の概況

-合計特殊出生率(1996年)は3.8人である。人口増加率は2.3%(90-95年)と高い。
-換金経済の浸透により伝統的に家庭で自給自足の生活を営むだけでなく、女性自身も所得を向上させる必要が高まっている。
-開発の計画・評価・モニタリングに必須とされる男女別の統計が不足している。
社会の変化に伴う女性のニーズやあり方にも変化が生じており、伝統的な役割や慣習的な理想像を見直す必要があるとされる。

一人あたりのGNPが1120米ドル(95年)であり(World Bank,1997)、実質GDP成長率が5.6%(1996年)である。政府公共支出の各セクター支出(1997/98年)は、保健8.2%、教育11.3%となっている(World Bank,1997)。サモアは人口が16万人と少なく、人口増加率(1990-1995年)は2.3%である。総人口に対する女性比率は48%である(Fairbairn,1998)。

国土が狭いため(2900?、神奈川県と同程度の面積)、国内市場が狭く、製造販売、輸送でも採算があう産業が成り立ちにくい。サモアの経済は、農業、漁業を中心とした自給自足の経済が特徴である。主要産業である第一次産業は全輸出額の90%を占める。経済援助の面からはLLDCに指定されており、援助ニーズが高いとされる(国際協力推進協会,1996)。ハリケーンの襲来により家屋や農産物が被害を受けている。恒常的な貿易赤字に対しては、移民からの本国への送金、借入による補填でまかなわれている。諸外国の不況のあおりを受けて、これらのサモア人が帰国して島で仕事をみつけ、結果的にサモア国内の失業率も高くなっているとされる(国際協力推進協会,1996)。

サモアは1962年より立憲君主制がとられている。現在の国家元首はマリエトリア・マヌマフィリ2世(Malietoa Tanumafili)であるが、行政権は内閣にある。サモアには地方自治制度がない(Fairbairn,1998)。

サモアは、南太平洋地域で最も伝統的社会構造が保持されている国である。生活の基盤となるのはマタイ(家長)をリーダーとするアイガ(父系の親族集団)であり、あらゆる経済活動や儀礼行為はこのアイガを単位として行われる。マタイは終身制であり、土地の配分、儀礼の指揮、トラブルの仲裁などの権限を有する。村落は2つの制度によって取り仕切られている。1つはマタイによる村落委員会(fono o matai)、もう一つは女性委員会である(Fairbairn,1998)。いかなるプログラムもこの2種類の村落制度を通さない限り実施できないとされる(Fairbairn,1998)。

換金経済の浸透により伝統的に家庭で自給自足の生活を営むだけではなく、女性自身も所得を向上させる必要が高まっている。社会の変化に伴う女性のニーズやあり方にも変化が生じており、伝統的な役割や慣習的な理想像を見直す必要があるとされる(Fairbairn,1998)。開発の計画・評価・モニターリングに必須とされる男女別の統計が不足している(Fairbairn,1998)。

識字率は全体の98%であり、初等教育の純就学率は男子100%、女子99%、中等教育は男子47%、女子51%であり(UNESCO,1998)、サモアの女性は初等・中等教育において平等な教育を受けている。しかし、高等教育となると、科学分野では女子の就学率は男子より下回り、女性の将来の職業選択に影響を及ぼす結果となっている(国際協力推進協会,1996)。

サモアは1981年に合計特殊出生率が6.6人、1991年に5.3人であったが、1996年には3.8人と近年減少傾向にあるものの、人口増加率は2.3%(90-95年)とまだ高い。思春期の青少年を対象にしたリプロダクティブ・ヘルス・サービスの拡充、リプロダクティブ・ヘルス制度の実施計画と評価方法の開拓など課題がある(Fairbairn,1998)。

サモア政府は1991年に女子差別撤廃条約に批准し、法律と経済・社会政策により女性の地位を確保する国際的責任を担う国となった。現在、女子差別撤廃条約に関する初めての報告書が草稿の形で準備されている(Fairbairn,1998)。大臣、副大臣の女性比率は7.0%とされ(UNDP,1997)、国家レベルでも意思決定への参加が少なく、低い行政レベルでは女性の比率がさらに低い(Fairbairn,1998)。

総人口の約90%は、ポリネシア民族に属するサモア人である。その他の民族としては、いずれも少数であるが、欧州系混血者、メラネシア民族、中国系民族、欧州系人種が混在する。使用言語はサモア語であるが、英語も普及し、公用語でもある。

2-2 WID/ジェンダーに関するサモア国政府の取り組み

サモア国政府の取り組み

- 1991年にサモア政府は女子差別撤廃条約に批准している。
- サモア憲法は性別による差別を廃止し、人権と自由を守る責任を明記している。
- 1991年に国家女性政策および行動計画(National Policy on Women and Action Plan)を作成している。
- 女子差別撤廃条約に関する初めての報告書が草稿の形で準備されている。

【憲法】

サモア憲法は性別による差別を廃止し、人権と自由を守る責任を明記している。第15条ではすべての人は、品位、性、宗教、政治、言語、世論、社会的ルーツ、出生地、家族の地位により差別されないとしている(Fairbairn,1998)。

【国際条約】

1991年にサモア政府は女子差別撤廃条約に批准し、法律と経済・社会政策により女性の地位を確保する国際的責任を有する国となった。現在、女子差別撤廃条約に関する初めての報告書が草稿の形で準備されている(Fairbairn,1998)。

2-3 ナショナル・マシーナリー

Ministry of Women Affairs

-1990年に議員法により設立され、1991年には事務局が開始され、独立した省のナショナル・マシーナリーとなった。
-婦人対策省(MWA)の役割と活動は、政策提言、情報サービス、各省庁への連絡、調査と統計、プログラムの研修およびその調整とされる(Fairbairn,1998)

【成立の背景】

婦人対策省は1990年に議員法により設立、1991年には事務局が設置され、太平洋諸島で初めて独立した省のナショナル・マシーナリーとなった(Fairbairn,1998)。Tooa Salamasina Malietoa Women's Center が1996年にこの省の事務所と研修施設として設立された(Fairbairn,1998)。

【予算・職員】

1991年の婦人対策省(MWA)の予算は13万8000WST(現地通貨)であり、5人の職員で運営された。1997/1998年度の予算はさらに大幅に計上され、66万3178WSTであり、職員数は16人に増員された(Fairbairn,1998)。

【目的】

婦人対策省(MWA)の主な目的は以下の通りである(Fairbairn,1998)。

- あらゆるレベルでの参加を通しての平等な開発の促進
- コミュニティと経済生活での平等な参加をもたらす機会の向上
- 国家と村落のネットワークの構築
- 女性のプログラムと政策の開発の調整

【主な役割と活動】

婦人対策省(MWA)の役割と活動は、政策提言、情報サービス、各省庁への連絡、調査と統計、プログラムの研修とされる(Fairbairn,1998)。

1)政策提言

- 女性の社会・経済・政治的平等の実現のための法律改正や政策提言
- 民間部門、公務部門での女性の地位の確保に関する評価

2)情報サービス

- ジェンダー意識化促進のための広報
- セミナーとワークショップの開催
- 月刊ニュースレターの発刊

3)各省庁への連絡

- 各省庁への事務連絡、便宜供与
- 議員からの質問、各省庁への文書・報告に対する応答の作成

4)調査と統計

- 男女の統計データベースの継続的改訂
- 他の機関の統計活用の促進

5)プログラムの研修とその調整

- コミュニティでの技術研修
- 国民女性の日(National Women's Day)のプログラムの調整
- 他の機関のコミュニティ開発研修プログラムのための研修指導者の研修プログラムの便宜の提供とその調整
- 政府部局やNGOに対するジェンダー意識化プログラムの便宜の提供

【NGOとの連携】

サモアの女性関連 NGO は、家族・コミュニティ・村落での開発に重要な役割を担っている。コミュニティを基礎にした組織、教会の組織、利益集団は、非常に活発に活動しており、ターゲットを掲げ、村落開発に重要な推進力となっている(Fairbairn,1998)。女性 NGO ネットワークには婦人対策省(MWA)の顧問委員会(Advisory Committee)のメンバーとなっているNGOも含まれている(Fairbairn,1998)。

【女性に関するデータベース】

婦人対策省(MWA)は、NGO とともに女性に関する以下のようなデータベースを編集している(Fairbairn,1998)。

- MWA, Samoa Country Statement on the Status of Women, to the United Nations Fourth World Conference on Women, 1995
- MWA,A National Policy on Women and Action Plan,1991
- Maposaga o Aiga(NGO)、 National Research and Policy Plan
- MWA,Review of Women's Agricultural Work,1993
- MWA, Statistics Book,1993
- MWA,Bibliography,1993
- MWA, Information Pamphlet for NGOs Seeking Aid,1996

現在作成中のものは以下の通りである(Fairbairn,1998)。

- CEDAW Report in Draft Form,1998
- Research on Elderly Women,1998
- Mainstreaming Policy,1998

3.主要セクターにおけるWID/ジェンダー

3-1 教育分野

教育分野の概況

-識字率は全体の98%であり、初等教育の純就学率は男子100%、女子99%であり、中等教育は男子47%、女子51%、初等・中等教育においては比較的男女格差が少ない。
-しかし、高等教育となると、科学分野では女子の就学率が男子を下回り、女性の将来の職業選択に影響を及ぼす結果となっている。

【教育概況】

国家開発計画の枠組みの中ではサモア式政策(Samoan-oriented Approach)をもとに普遍的な教育制度の拡充に重きを置いている。サモア国家教育計画(Samoa's National Education Policy1995-2001)とその行動計画(Action Plan)では教育に対する国家のビジョンと総合的かつ明確な目標を明記している。公平でかつ適切な教育の普及にあたっては学校とコミュニティとの協力が不可欠であるとしている(Fairbairn,1998)。

教育制度はニュージーランドの制度にならって制定されている。5才から始まる8年制の小学校を義務教育とし、その上に3年制の中学校が置かれている。公共支出に占める教育支出の対GNP比は4.2%である(1994年)。

【識字教育】

識字率は高く、全体で98%である(UNESCO,1998)。サモア政府がコミュニティとともに教育開発に長い間力を注いできた結果とされている。牧師学校(Pastor's School)に子供たちが通い、読み、書き、算数を習ったことなどが高い識字率に寄与しているとされる。学校教育が義務教育であるにもかかわらず、不登校の子供がいることなどが今日の問題である(Fairbairn,1998)。

【初・中・高等学校教育】

識字率は全体の98%であり、初等教育の純就学率は男子100%、女子99%であり、中等教育は男子47%、女子51%(UNESCO,1998)。サモアの女性は初等・中等教育において比較的平等な教育を受けている(Fairbairn,1998)。

就学率(1995年)		(単位:%)
学年	男子	女子
小学(5-14学年)	82.9	85.2
中学(15-19学年)	65.4	73.9
高等教育(20学年以上)	5.1	2.8

出典:Department of Education, Fairbairn,1998より作成

【高等技術/大学教育】

高等教育となると、科学分野では女子の就学率が男子を下回り、女性の将来の職業選択に影響を及ぼす結果となっている。工芸大学(Polytechnic)では男子が多く、教師養成カレッジでは逆に女子の方が多い。サモア国立大学(NUS)では社会科学系に女子学生が多く、科学系に男子が多いとされる(Fairbairn,1998)。

高等教育就学者数 (最新データ)			(単位:人)	
	Polytechnic		Teachers'College	
学年	男子	女子	男子	女子
1997	207	63	69	132
1998	361	99	95	124

出典:Department of Education, Fairbairn,1998より作成

【教員養成】

サモアの教員養成は、サモア国立大学の教育学部で行われる。初等教育では女性の教員が71%を占めるが、高等教育レベルでは、社会科学の教員以外は、男性教師がほとんどを占めるようになる(Fairbairn,1998)。

学校レベル別女性教員比率(1992年) (単位:%)

	女性比率
初等教育	71
中等教育	85
教師養成	5.4
高等教育	2.0

出典:Department of Education, Fairbairn,1998より作成

【教科書と教材・カリキュラム開発】

多くのサモアの学校、特に農村部の学校では教育教材、機材が深刻に不足している(Fairbairn Dunlop, 1998)。オーストラリア国際開発庁(Aus AID)のプログラムでは、これらの教材・機材不足に対応して各教室に教材、理科教材を供与し、ラジオ放送による放送教育を行った。ニュージーランドのプロジェクトではカリキュラムの改訂を行い、教師の指導や学習内容の中でジェンダーの役割固定化がなされないようにカリキュラムが見直された(Fairbairn,1998)。

3-2 保健医療分野

保健医療分野の概況

- 合計特殊出生率(1996年)は3.8人である。人口増加率は2.3%(90-95年)と高い。
- 低体重児率が7%と低く、出産助産比率も95%(90-97年平均)と高い。妊産婦死亡率は出生10万人あたり35人である。
- 近年のライフスタイルの変化に伴い、高血圧、癌、糖尿病が増加している。
- 1996年に産前検診に登録した人の10.2%(265人)が10代女性であった。

【保健医療概況】

平均余命は男性63.5才、女性65.5才である。保健医療の普及は、医師一人あたりの人口は3万4482人、看護婦(士)・助産婦一人あたりの人口4629.62人と普及が低い(UNICEF,1998)。安全な水の普及率は、都市100%、地方77%であり、衛生施設も都市部100%に対して地方部92%と普及率が高い(UNDP,1997)。リユーマチ熱、デング熱、腸チフスなどの熱帯特有の伝染病は、近年減少し、ライフスタイルの変化に伴い、非伝染病(Non-Communicable Disease,NCD)とされる高血圧、癌、糖尿病が増加している(Fairbairn,1998)。

高血圧、肥満、糖尿病の増加(性別、地域別)

(単位:%)

	農村(Tuasivi)				都市(Apia)			
	1971年		1991年		1971年		1991年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
高血圧*	3.0	7.6	7.3	4.5	12.7	19.5	15.1	16.0
肥満*	20.0	14.0	15.9	13.9	17.2	14.6	31.9	22.4
糖尿病*	6.4	6.0	9.0	9.4	10.1	10.3	11.0	18.0

*高血圧,Blood pressure>160、肥満,Weight>100kg、糖尿病,2hour post 75g plasma glucose>11mmol/L

出典:Hodge,A.M.,GK Dowse et al,1993、Fairbairn,1998より

【保健医療関連政策】

母子保健などに関わる政策としては、拡大予防接種プログラム(Expanded Programme on Immunization), 食 物 栄 養 政 策 -1995 年 (Food and Nutrition Policy,1995), 母 乳 栄 養 政 策 -1995 年 (Breastfeeding Policy,1995),保健局禁煙政策-1992年(No Smoking Policy of the Department of Health,1992)がある。

【栄養/母子保健/リプロダクティブ・ヘルス】

低体重児率が7%と低く、出産介助比率も95%(90-97年平均)と高い。妊産婦死亡率は出生10万人あたり35人である。一才児の予防接種実施率(90-95年)は、BCG98%、三種混合95%、経口ポリオ95%、麻疹96%と高い(UNICEF,1998)。10代の妊娠による出産の場合、ダイエットのため胎児や乳児が栄養障害を起こしやすい。また、不十分な出産間隔のため子供が発育面で影響を受けているともされる(Fairbairn,1998)。

リプロダクティブ・ヘルスの教育は、リプロダクティブ・ヘルス、家族計画、セクシュアル・ヘルス (Reproductive Health/Family Planning/Sexual Health Programme,RH/FP/SH)プログラムとして実施されている。リプロダクティブ・ヘルス関連プログラムで必要とされる機材と薬品は UNFPA より資金供与を受け、WHOより調達を受けている。一般に国立病院と家族福祉センター(Family Welfare Center)では機材、薬品が揃っているが、他の農村部では改善が必要とされている(Fairbairn,1998)。

1998年のWHOによる勧告では以下のような提案がなされている(Fairbairn,1998)。

- 国家 リプロダクティブ・ヘルス、家族計画、セクシュアル・ヘルス協議会 (National RH/FP/SH Council)の設立
- 思春期の青少年を対象にしたリプロダクティブ・ヘルス・サービスの拡充
- 保健サービスを行う人材の向上
- リプロダクティブ・ヘルス制度の実施計画と評価方法の開発
- サモア社会独自の文化社会的構造を活用してのコミュニティ参加の推進

【家族計画】

サモアは1981年に合計特殊出生率が6.6人、1991年に5.3人であったが、1996年には3.8人と近年減少傾向にあるものの、人口増加率は2.3%(90-95年)とまだ高い。西サモア家族保健協会(WSFHA)は、国際家族計画連合(International Planned Parenthood Federation)により資金援助を受けた NGO である(Fairbairn,1998)。サモアの家族計画普及サービスの75%はこの連合によって行われている。西サモア家族保健協会(WSFHA)は、保健省と協力して、女性委員会とYMCAなどのNGOとともに、アピアのクリニックやウボル島とサバイ島を回る巡回医療(Mobile Unit)によって家族計画、産前ケア、カウンセリングサービスを行っている。また、中等教育機関においてもリプロダクティブ・ヘルスに関するセミナーを開催している。避妊使用は主に女性に限られていたが、1995年から男性避妊用具の普及が推進されている(Fairbairn,1998)。

サモアにおける避妊普及率*				(単位:%)
	1988年	1991年	1993年	1996年
普及率	14.4	21.7	30.7	42.2

出典:Annual Reports-Family Welfare Center, Fairbairn,1998より

* 15-49才の女性を対象とした普及率

主な避妊方法はデポプロベロ 19.9%、経口ピル 47.3%、IUCD2.1%、コンドーム 0.7%である。10代の妊娠が増え、家族福祉センターの年次報告によれば1996年に産前検診に登録した人の10.2%(265人)が10代女性であった(Fairbairn,1998)。若い男女が性・セクシュアリティ(個人の性的特質)や避妊法について学ぶ機会が少ない(Fairbairn,1998)。

3-3 農林水産業分野

農林水産業分野の概況

- 農業分野の労働人口は全労働人口の67%であり、農業女性は全女性労働人口の73%を占める。
- 自家消費を中心とした農業から換金作物を中心とした農業の需要が高まっている。
- 農林水産省(MAFF)は、女性の農業への貢献と役割の変化に対応して施策を積極的に打ち出している。
- 農林水産省は、農業普及員のためのジェンダー意識化を行っており、農業普及員の職務内容に女性農業経営者に対しても普及を行うことを義務づけている。
- 村落ごとに漁業管理計画を作成することになっており、村落の女性委員会がこの審議に関わっている。

【概況】

サモアの主要な島はサバアイ島とウポル島からなり、耕作面積は約 610 km²と推定され、火山岩と珊瑚からなる。島の中央には 1000 1500m の山脈が存在し、農業は海岸沿いで行われる。農業は基幹産業であるが、自家消費を中心とした伝統的農業であり、国際価格や自然条件の影響を受けやすいことから経済基盤は脆弱なものとなっている。主要農産物は、ココナッツ、ココアなどを中心としているが、政府は産業基盤の多角化、特に農産物の多様化を推進すると共に、林業、畜産業、漁業、製造業の育成を図っている。農業分野の労働人口は全労働人口の67%であり、農業女性は全女性労働人口の73%を占める(Fairbairn,1998)。

【WID/ジェンダー政策】

農林水産省(MAFF)は、女性の農業への貢献と役割の変化に対応して施策を積極的に打ち出している。農業制度プロジェクト(Farming Systems Project,FSP)は、婦人対策省と農林水産省が連携して実施し、農業制度プロジェクト(FSP)の政策タスクフォースは各サブセクターや特別な関心分野に対して政策をまず表明し、女性をコミュニティの重要な参加者として位置付けた(Fairbairn,1998)。農業制度プロジェクト(FSP)は、農業を専攻する女子学生に対する奨学金に関する調査、農業普及員のためのジェンダー分析の研修に関する調査、婦人対策省が農業女性を調査する際の支援なども含まれている(Fairbairn,1998)。

【農業普及】

農林水産省は、農業普及員のためのジェンダー意識化を行っており、農業普及員の職務内容に女性農業経営者に対しても普及を行うことを義務づけている。女性のために食物栽培と家庭菜園の研修がUNICEFプロジェクトとして農林水産省によって行われていたが、現在は管轄が婦人対策省に移管された(Fairbairn,1998)。

【漁業】

女性が漁業を行うことに対して特に障害はなく、女性は近海の沖で魚を採集し、男性は深海で漁業を行うことが多いとされる。農林水産省の漁業課(Fisheries Division of MAFF)では漁業普及のためのコミュニティを基礎とした政策を打ち出している(Fairbairn,1998)。村落ごとに漁業管理計画を作成することになっており、女性委員会がこの審議に関わっている。漁業関連プロジェクトとしては海老採集、貝採集には女性組織が積極的に関わり成功していると評価されている(Fairbairn,1998)。

【土地所有】

西サモアの国土は憲法により慣習地、国有地、自由保有地の3つに区分されている。国土の90%を占める慣習地とその諸権利は憲法により擁護されている。国会承認の伴わない土地の売買やリースは禁止されている。女性も男性の家族構成員(夫、兄弟)とともに土地への相続の権利を有するが、慣習上、土地への権利を持つことはまれとされる(Fairbairn,1998)。

【林業】

国土の47%が森林であるが、1991年サモア政府は自然環境保護の観点から、自然林年間伐採量規制措置を導入している。林業への女性の参加について特に記述はない(Fairbairn,1998)。

3-4 経済活動分野(鉱工業・手工業・サービス業等)

経済活動分野の概況

- 換金経済の浸透により自給自足の生活を営むだけではなく、所得を向上する必要が高まっている。
 - 総労働人口比率は工業4%(女性8%)、サービス業29%(女性19%)である(1990年)。
 - 雇用形態で見た場合、雇用者、被雇用者、自営ともに女性は約3割を占めている。
 - 労働雇用法(Labour and Employment Act, 1973)では女性のための特別な条項があり、女性は肉体的な許容量に合わない活動をしてはならないとある。特定の職種以外では、女性が就労してはならない時間帯があるとしている。

【経済状況】

サモアは他の太平洋諸島と同様に経済発展を進める上で、阻害となる国内市場の矮小性、国際市場との遠隔性などの要因のため産業の育成が難しいとされる。近年では農作物の病気やサイクロンなど自然災害の影響を受け、成長と停滞を繰り返している。サービス業のGNP比は53%、農業34%、鉱工業13%である(1989年)。総労働人口比率は工業4%(女性8%)、サービス業29%(女性19%)である(1990年)。失業率は3.0%である。サモアの主な産業は観光業である。主要産業である第一次産業は全輸出額の90%を占める。経済援助の面からはLLDCに指定されており、援助ニーズが高い(国際協力推進協会, 1996)。恒常的な貿易赤字に対しては、移民からの本国送金、借入による補填でまかなわれている(Fairbairn, 1998)。

【雇用状況】

労働局四半期雇用調査(Department of Labour Quarterly Employment Survey)によれば、1994年第4期の労働力は1万9000人であり、そのうち33%が女性である(Fairbairn, 1998)。雇用形態で見た場合、雇用者、被雇用者、自営ともに女性は約3割を占めている(Fairbairn, 1998)。

雇用形態別による雇用数および女性比率

	女性数(人)	男性数(人)	全体数(人)	女性比率(%)
雇用者	210	490	700	30
被雇用	5617	9949	15566	36
自営	377	2256	2633	31
無償労働	11522	25544	37066	32

出典: Dept. of Statistics, 1991 Census of Population and Housing, Fairbairn, 1998より作成

公務部門での女性の就労職種は、54%が教員、30%が行政職、13%が看護婦とされる(1990年)。2%の女性が技術専門職、0.2%が管理職である(Fairbairn, 1998)。等級別で見ると低い等級ほど女性比率が高く、局長・局長代理クラスになると22.2%と低くなる(Fairbairn, 1998)。

等級別公務員数および女性比率

	女性数(人)	男性数(人)	全体数(人)	女性比率(%)
Grade1-3	379	217	596	63.6
Grade4-6	135	140	275	49.1
Grade7-10	122	132	254	48.0
Grade11-12	23	40	63	36.5
Grade13-14	15	37	52	28.8
Special	1	3	4	25.0
Dep. / Assistant	4	18	22	18.2
Head	3	21	24	12.5

出典: Dept of Statistics, 1991 Census of Population and Housing, Fairbairn, 1998より作成

【就労の職種】

1991 年人口センサスによれば、産業別就労者数で見た場合、卸売業・飲食・ホテル業には 55%、製造業 49%、金融・保険・不動産・ビジネス 46%と高い比率で女性が就労し、一方、建設業 6%、電気・ガス・水道9%などの職種では女性の就労が少ない(Fairbairn,1998)。

産業別就労者数および女性比率

産業別	女性数(人)	男性数(人)	全体数(人)	女性比率(%)
農業、狩猟、林業、漁業	11772	27783	39555	30
鉱業	15	72	87	17
製造業	577	612	1189	49
電気・ガス・水道	57	585	642	9
建設	117	1907	2024	6
卸・飲食・ホテル	1025	836	1861	55
運輸、倉庫、通信	222	1675	1897	12
金融・保険・不動産・ビジネス	626	744	1370	46
地域社会・個人サービス	3316	4026	7342	45

出典:Dept of Statistics,1991Census of Population and Housing、Fairbairn,1998より作成

【零細企業育成】

小規模企業センター(Small Business Enterprise Center、SBEC)は、1998 年より農村女性委員会向けのビジネス研修を行い始めた(Fairbairn,1998)。ビジネス女性基金(Women in Business Foundation,WIB)は、ニュージーランドの援助とエコウーマン・ネットワーク(Ecowomen Network)の技術支援により女性起業家のためのコースを始めている(Fairbairn,1998)。

【インフォーマル・セクター】

インフォーマル・セクターで働く女性はきわめて多く、収入が不足すると、インフォーマル・セクターの女性小売業者は増加する(Fairbairn,1998)。訪問販売や街角で物を売ったり、フリーマーケットなどで食品、手芸品を売る者の 90%は女性である(Fairbairn,1998)。就学時間帯や夕方に街頭で物を売る子供や少女も多い(Fairbairn,1998)。

【働く女性支援】

労働雇用法(Labour and Employment Act,1973)では、女性のための特別な条項があり、女性は肉体的に許容量に合わない活動をしてはならないとある。特定の職種以外では、女性が就労してはならない時間帯があるとされている。これらの法律の施行は労働弁務官の裁量に任せられている(Fairbairn,1998)。

出産育児休暇については、妊娠を理由に女性は解雇してはならないとあり、8 週間までの有給休暇の付与は公務部門では法制化されている(Fairbairn,1998)。この休暇は15ヵ月まで延長することができる。しかし、8週を超えた場合は無給休暇である。民間では育児休暇についての条件は明らかではないが、民間企業の90%では育児休暇をとれるようになっている。職場に託児施設が設置させることが 1980 年代に検討されたが、実現されておらず、就学前児童のケアは家族によって行われている(Fairbairn,1998)。

4. 国際機関・その他の機関のWID/ジェンダー関連援助実績

プロジェクト	実施機関	援助機関	期間	内容
<ジェンダー関連>				
Women in Samoa	MWA	NZODA	4 years June 1994 - 8 New approval sought in 1998/9	Institute Strength of MWA and NGOs. Policy /programmes WIB Violence against Women (MOA)
Review of Policy/Dvt Mainstreaming Project	MWA	NZODA	1 month	
Women Training Project	MWA	Japan,JICA		Building for Savaii Center
<教育>				
NZODA Study Awards	Education Dept/ Samoa School Committee	NZODA	Begun 1989/90 Funding approved annually 1989/90	Tertiary Study NZ
Pacific Regional Awards	Education Dept/ Samoa School Committee	NZODA	Begun 1989/90 Funding approved Annually	Tertiary Study USP, Suva
Short-term Training	Samoa School Committee	NZODA	Begun 1989/90 Funding approved annually	Training
Polytechnic Staff and Courses Development Phase 2	Polytechnic	NZODA	Begun 1991/2	Gender Equity component in large project
Polytechnic Project	Polytechnic	AusAid		Gender Equity component Female scholarships (25 in 1998) Awareness raising in school and community Newsletter, video large Gender equity support in SP Ablution facilities for women students
NUS	NUS	NZODA	Begun 1987/88	Gender component in large project of \$3,000
School of Nursing	Health Dept. and NUS	AusAid	1995-1997	Assist the NUS and Dept of Health upgrade nursing education
Primary Education Materials	Education	Aux Aid	1996-1999	Years 4-8
<保健医療>				
Child Health	Health Dept.	NZODA	Commenced 1986/7	
Strengthening Utilization of Quality Reproductive Health Services I	MWA	UNFPA SAM/98/ P01	1998-2001	

Office Equipment	Komiti Timama	Japan 1997		Grassroot Grant
Food Nutrition	MWA		1997-2001	
Integrated Health Sector Project	Health Dept.	AusAid		
<法律>				
Legal Literacy Video	MOA	UNIFEM	Proposed	Video for public awareness of sexual/domestic violence
<農林水産鉱工業>				
Small-scale commercial beekeeping	WIB	FAO (97/SAM001)		
Lagoon Giant Clam Nursery Development in Fusi Safata	Fisheries Division, MAFF	FAO 97/SAMO04)		
Farming Systems Project	MAFF	AusAid	1992-1997	Community based against systems
Fisheries Extension and Training	MAFF	AusAid	1995-1998	Community based fisheries training
<経済活動>				
Small Business Enterprise Center Phase 2:	Board of Trustees	NZODA	Phase 1 1994-Phase 2 1998-	Business Training
WESAP Grameen Scheme	MWA and WIB	UNDP	1995, 1998-	Microcredit and training
Microstart	MWA and WIB		1998-	
WIBF Financing Micro-entrepreneur @ Savings Mobilisation Project	WIB	UNDP/ UNIFEM	Oct 98- Sept 99	Working with disadvantaged women
5 model-coconut oil businesses Phase 2	WIB	Canada Fund	1996-	Purchase/install micro-oil expeller in 5 villages
Training for rural coconut oil prod (2 nd installment)	WIB	Canada Fund	2 years Jan 97-Dec 98	Training to women and young people for business development
4 coconut oil projects for rural areas (1 st installment)	WIB	Canada Fund	Feb 98	Assist in establishing 4 small c/oil processing businesses
Papermaking	WIB	NZODA	Proposed	
Biscuit production	WIB	Canada Fund		Establishment small business production for youth
Beekeeping project	WIB	Canada Fund		100 hives, est 10 beekeeping business., in rural areas
Leadership/ enterprise development for women	WIB	UNIFEM	Proposed	Strengthen office operation and admin for full establishment of the Service Center
Office Equipment	WIB	Canada Fund	Feb 98	Strengthen WIB capacity to serve rural women
NGO Small Projects Fund	OPEN	NZODA	1986/7	Miscellaneous projects
Small Grants Scheme	OPEN	AusAid	1985	Miscellaneous up to \$40,000 per project

5. WID/ジェンダー情報リソース

5-1 関連機関、人材、NGO リスト

【国際機関】

名称	実績など	連絡先
Soroptimists International	Business and professional development	President:
PPSEWA (Pan Pacific and South East Asia Women's Association International)	Co-op amongst women's groups for the improvement of social economic and cultural conditions	President:

【政府機関】

名称	実績など	連絡先
Ministry of Women's Affairs		Women's Center, Sogi
Health/ Information Unit		National Hospital

【NGO】

名称	実績など	連絡先
National Council of Women (NCW)	Handicrafts Development Issues Credit society Women and politics	President: Mataafa Beach Road Apia
Samoa Women Committees Dev. Inc	Health Income generation	Pres: Faletese Box 1638, Apia Tel 23158 Fax 20797
Mapusaga o Aiga Inc	Violence against women Women's rights	Pres: C/- Ministry of Education, Apia
Women in Business Foundation	Business Training	Pres: Tel: 21959 Fax 21959
Catholic Women's Fellowship Upolu		Pres: Tel 21328
Catholic Women's Fellowship Savaii		Pres: Tel 26937
Methodist Women		
Sr. Patrick's Golden Girl	Projects	Pres: Tel. 21500 Fax 21339
Women's Aglow		
Western Samoa Association of University Women	Education	Pres: Tel 21433 (h) 21671 (b)
Adoptus Center Incorporated	Pre-natal and post natal Care and counseling for teenage pregnancies	Ruta Tel 20729
Samoa Registered Nurses Assoc., Inc	Health	Pres: Box 1638, Apia

		Tel 24439 Fax 26976
Papaseea Sliding Rock Development	Development	Pres: Tel 24037
Bahai Women's Fellowship	Religion	Chair: Box 9065, Apia Tel 20156
Le Talie Women's Dev Society	Development	Pres Tel 26422
Loto Taumafai Society for the Disabled		Pres: Box 1631, Apia Tel 24288 Fax 22713
World Women's Christian Temperance Union, Inc	Alcohol abuse	Pres: Box 54, Apia Tel 21197 Fax 23255
Samoa Flower Growers Assoc Inc		Pres: Tel 20074
Samoa Traditional Healers Assoc	Traditional Healing	Pres: Tel 21751
Asotoelau Auala Women's Comm		Chair: Tel 26497
Komiti Faafetulima, Satapuala	Handicraft	Pres: Tel 22670
Girls Brigade of Samoa	Training and skills development	Pres: Tel 21230, 24414
National Women's Fellowship	Religion and Bible Study	Pres: 24343
Assembly of God's Women's Mission of Samoa		P O Box 1558, Apia
Girl Guides	Full development of young girls	President: Development Bank P O Box 111 Apia Tel 24 414, Fax: 20 429
L.D.S Women's Association		C/- LDS Church Schools, Pesega
Women's Fellowship Congregational Christian Church of Samoa		C/- Box 468
Women's Organisations, church of Nazarene		P O Box 1025 Tel 20568

【調査機関】

名称	実績など	連絡先
National University of Samoa		Toomatagi
USP School of Agriculture	Wag issues	Alafua
USP Cont Education	Social issues and health and economic development.	Alafua
Samoa Association of Women Graduates	Education	C/- Cont Ed, Alafua, SOA
National Hospital Health and Information Unit	Health	

5-2 報告書、資料リスト

【女性全般】

書名	著者	年	出版社
Coming of Age in Samoa	Mead M	1996	Penguin Ed 1966
Margaret Mead and Samoa: The Making and Unmaking of an Anthropological Myth	Freeman D	1983	ANU 1983
Daughters of Sina: A Study of Gender Status and Power in Western Samoa	Schoeffel-Meleisea P	1979	Unpublished Ph D thesis ANU 1979
Women are Preserving the Customary Systems: Are the Customary Systems Supporting Women's Economic And Social Well Being (1997)	Fairbairn-Dunlop P	1997	UNESCO Conference Suva Fiji, July Fiji (in print)
Western Samoa: The Sacred Covenant 1986	Aiono Fanaafi	1986	Land Rights of Pacific Women, IPS USP

【教育】

書名	著者	年	出版社
Aspects of Samoan Personality	Fairbairn-Dunlop P	NA	Pacific Perspectives, Vol.12,2, IPS, Suva
Getting Started, Setting up NGO Women's Information Centres. Western Samoa	Fairbairn-Dunlop P	1989	Country Paper, ESCAP Proceedings of Workshop, Vila 1989.
Decentralisation, Centralisation: Education in Western Samoa	Fairbairn-Dunlop P	1993	Access, Jan 1993, University of Auckland
Women's Education: Pacific	Fairbairn-Dunlop P	1994	Directions 30 Vol 16 no 1, USP, Suva Overview'1994,
Samoan Parents and the Primary School	Fairbairn-Dunlop P	NA	Unpublished MA Thesis, Victoria University, Wellington

【保健・衛生】

書名	著者	年	出版社
Dilemmas of Modernisation in Primary Health Care in Western Samoa	Schoeffel -Meleisea P	NA	Social Science of Medicine, Vol 19 no 3
Dimensions of Diffusion: Delivering Primary Health Care and Nutritional Information in Western Samoa	Thomas P	1986	Ph D thesis, SNU 1986
Prevention and Control of Diabetes Mellitus Including Gestational Diabetes and Other NCDs in Samoa 1991	Dowse G, Zimmet O Toelupe P and Imo T T	NA	WHO Manilla
Overview of Women's Health Status in Western Samoa	Tuuau-Potoi M N	NA	MWA unpublished paper
Women's Committees Health Primary Health Care in W. Samoa. Women Supremacy of Women Suppression	Tuual-Potoi M N	1991	MPH Research in Women's Health, UNSW 1991
Metabolic and Cardiovascular Disease	Zimmet P, Ainuu J,	NA	WHO

Survey in Western Samoa 1978	Faaiuso T		
Western Samoa Women's Health Profile Checklist of Indicators	Tuuau-Potoi M N	1995	Prepared for WHO Manila 1995)
Violence Against Women in the Family in Samoa	Simi N	NA	Case Study for Social Development and Humanitarian Affairs in Vienna
Malnutrition in Samoa	Adams J and Sio B	1997	FAO 1997
Situation Analysis of Women and Children in Samoa	UNICEF	1996	UNICEF 1996
Research Report A Study of Domestic and Sexual Violence Against Women in Samoa	Mapusaga O Aiga	1996	MOA 1996
Pacific Islands Women, Physical Recreation and Health in New Zealand	Dunlop A L	1996	M A in Recreation and Leisure Victoria University Wellington 1996

【農林水産業】

書名	著者	年	出版社
The Role of Women in Agriculture and Rural Development in Western Samoa	Simi N	1985	FAO 1985
Researching the Rural Household	Fairbairn-Dunlop P	1994	NZ Workshop for Pacific Island Women Leaders. Wellington July 1994 MERT NZODA
Rural Development Issues in South Pacific Countries 1994	Fairbairn-Dunlop P	1994	FAO Report, Bangkok
The Household and Agriculture: Western Samoa.	Fairbairn-Dunlop P	1990	Working Paper. International Gender Study Group: University of Newcastle-on-Tyne. (19pp)1990
Women and Agriculture in Western Samoa	Fairbairn-Dunlop P	NA	Momsen, J and V Kinnaird (ed) different places, difference voices, gender and development Routledge, UK
From Research to Action Planning	Fairbairn-Dunlop P	1993	Conference Proceedings, Women and Agriculture Regional Workshop IRETA/CTA, 1993
Educating Future Women Farmers; Pacific	Fairbairn-Dunlop P	1994	Keynote address: First International Conference on Women and Agriculture, Melbourne, July 1994
Pacific Women's Triple Agriculture Role: food security, informal trade and cash cropping	Fairbairn-Dunlop P	1997	Journal of South Pacific Agriculture, vol 4 Jan-Dec 1997July, Fiji
Mother, Farmer, Trader, Weaver: Juggling Roles in Pacific	Fairbairn-Dunlop P	NA	Agriculture' in A Emberson-Bain (ed) Sustainable Development or Malignant Growth, Marama Press, Fiji
Women's Access to Agricultural	Ainuu E	1994	B Trop Ag

Information			research project, USP SOA 1994
Micro-enterprises: The Panacea for Development	Holland R	1997	Unpublished MA these, VUW, NZ 1997
Pacific Women and Agriculture (ed)	Fairbairn-Dunlop P	1994	Report of the Women and Agriculture Regional Conference, IRETA/ USP 1994

【経済活動分野】

書名	著者	年	出版社
Island Entrepreneurs	Fairbairn T I J	1998	PIDP East West Centre 1988
The Ladies Row of Thatch: Women and Rural Development in Western Samoa	Schoeffel-Meleisea P	NA	Pacific Perspectives, Vol 8, USP, Suva
The New Samoan Business Woman	Thomas P & Simi N	NA	Pacific Perspectives, vol 11 no 22 IPS, USP
A Concept of Work for a Semi-Subsistence Traditional Society: Samoa	Fairbairn-Dunlop P	1992	Study Group on Gender and Geography, Rutgers University, July 1992 IGA,
Pule Oe: It's up to You. Women's Career Patterns in Western Samoa	Fairbairn-Dunlop P	NA	In Women and Education in PNG and the South Pacific.E.Wormald and A.Crossley (ed) UPNG Press Waigani pp. 217-238
Economic Empowerment of Pacific Women	Fairbairn-Dunlop P	1997	Paper presented to the 7th Triennial Conference of Pacific women, SPC, Noumea, 1997
Women Workers in Samoa and Tonga	Ralston C	1991	In C Moore et al Labour in the South Pacific 1991 James Cook University

【その他】

書名	著者	年	出版社
Women in Politics	NCW	1988	National Council of Women Report of Regional Seminar 1988
Tamaitai Samoa	Fairbairn-Dunlop P	NA	IPS and Kin Publications
Empowerment for Women through the Documentation of Oral Histories: Samoa	Fairbairn-Dunlop P	1998	Paper presented at the International Federation Network of Women Historians, University of Melbourne, June 1998
The Origin and Devilment of Women's Associations in Western Samoa 1830-1977	Schoeffel-Meleisea P	1997	Journal of Pacific Studies 3 1977
O Tamaitai Samoa	Schoeffel-Meleisea P	NA	Extension Services, USP

Strengthening NGO Structures: Western Samoa	Fairbairn-Dunlop P	1990	in Sydney Talk: Australia in the South Pacific, McCall, G.(ed). Pacific Studies Monograph No. 1, UNSW, pp1990
Tourism Impacts on Traditional Culture and Female Enterprise in Western Samoa	Fairbairn-Dunlop P	1994	in Kinnaird V and Hall D, Tourism Development: the gender dimension Routledge, UK 1994
If I plant a tree, will my children be here to see it grow?	Fairbairn-Dunlop P	NA	in A Emberson-Bain (ed) Sustainable Development or Malignant Growth, Marama Press, Fiji
Samoa Writing: The Search for the Written Fagogo	Fairbairn-Dunlop P	1994	P Sharrad (ed) Reading in Pacific Literature, New Literatures Research Centre, University of Wollongong 1994
Samoa Women and Access to Credit	Fairbairn-Dunlop P	1995	UNDP, ESHDP 1995
New Avenues for Micro-Credit for Informal Sector Activity: Pacific Women 1996	Fairbairn-Dunlop P	1996	Presented to the 11 th Annual Conference of ADFIP, (Association of Development Finance Organisations in the Pacific), Western Samoa 1996

6. 参考文献

- Fair Dunlop@Associates Ltd.1998
Country Profile on Women in Development,Samoa
- UNICEF,1998
The State of The World's Children,1998, Oxford University Press
- UNESCO,1998
World Education Report1998, UNESCO Publishing
- ESCAP,1997
Women in Samoa, A Country Profile
- UNDP,1997
Human Development Report1997
- World Bank,1997
World Development Report1997
- 国際女性の地位協会、1996、『国際女性、No.10』
- 弘文堂、山本泰、山本真鳥著、1996、『サモア社会の贈与・権力・セクシュアリティ』
- 農林水産省熱帯農業研究センター、宮重俊一、1993、
『南太平洋島しょ諸国の農業および農業研究の実態調査』
- 国際協力推進協会、1996、『西サモア開発途上国国別経済協力シリーズ第3版』
- 外務省欧亜局太平洋州課、1995、『西サモア概要』
- 国際協力事業団、1997、『フィジー・トンガ・西サモア国海外漁業開発事業事前調査報告書』
- 国際農林協力協会、1995、『開発途上国の基本統計(太平洋州編)』

<ローカルコンサルタント使用資料>

- Treasury,Policy and Planning Division,1994
Business Activity Survey
- SPC,1993
Pacific Women's Directory
- SUNGO
List of Affiliated Members
- MWA
Auala e Maua Ai Fesoasoani,Report
- MWA,1998
CEDAW Draft Review
- MWA,1994
Women in Western Samoa; Policy and Programme Development
- MWA,1996
Women in Samoa, An Annotated Bibliography
- MWA,1995
Statistical Profile
- UNDP,1996
NGO Directory,UNDP Suva
- UNDP,1996
Draft Sustainable Human Development Report,ESHDP Suva
- WHO,1997
3rd Evaluation of the Implemetation of the Strategy for Health for All, by the Year 2000,Western Samoa
- World Bank,1998
Samoa Health Sector Review: Meeting the Challenges of Development
Health Resource Planning an Policy Division, Dept of Health
- Dept. of Health,1995
Annual Report,1995/96
- Family Health Center
Family Health Project

7. 用語・指標説明

<用語説明>

ジェンダー (gender)

社会的・文化的性差のこと。生物学的な性差（セックス）は、基本的には変更不可能だが、男女の役割やその相互関係を示す社会的な性差（ジェンダー）は、人々の考え方や価値観によって規定されているため、時代や地域などにより異なり、また変えていくことができる。

インフォーマル・セクター (Informal Sector)

労働統計上、雇用者のいない単独業種の経済活動の人口や家族従業者。この特徴は、単純な技術、わずかな資本、営業場所不定、最低限の被雇用者（もしくは被雇用者なし）、準適法性・登録の欠除、帳簿付けの欠如などである(ILO の定義による)。インフォーマル・セクターの労働者は、制度的・法的保護の目からもれ、不安定・低賃金労働環境に置かれることが多い。

WID (Women in Development)

女性が開発における受益者のみならず、自主的な開発の担い手であることに留意し、開発プロジェクトのあらゆる段階への女性の積極的参加の確保に配慮した開発をすすめること。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (reproductive health / rights)

性と生殖に関する健康/権利。安全で満足な性生活を営めること、子供を産むかどうかの選択、時期、人数などを決定する自由をもつこと。

ナショナル・マシーナリー (national machinery)

男女平等を推進する国レベルの女性問題担当行政機関。女性政策の立案・実施・各省庁への男女平等な施策の実施の促進を行う。

エンパワーメント (empowerment)

個人または集団が政治・経済・社会的な力をつけていくこと。

アファーマティブ・アクション又はポジティブ・アクション (affirmative action / positive action) (積極的差別是正措置)

被差別集団が過去における差別の累積により他の集団と比べ著しく不平等な状態に置かれているような場合、格差の急速な是正のためにとられる積極的な優遇措置。

アクセスとコントロール (access / control)

アクセスは土地、労働、資金といった経済活動を行う上での資源やサービスなどを使用できること、あるいは使用する権利を有すること。コントロールは資源やサービスなどの管理について決定したり、所有したりする権利。

再生産活動

子供を生み、育てることといった「次世代を再生産」する活動と、洗濯や炊飯といった家族員が日々の生活を維持し、労働力を再生産していくための活動。

<指標説明>

インフレ率

GDP デフレーターを代用。

ジニ係数

所得分配の不平等の度合を示す係数。0 と 1 との間の値をとり、完全に平等な場合 0、完全に不平等な場合 1 をとる。0.4 以上の場合、不平等度が高いと一般的に判断される。

女性所得比率

各国比較可能な該当データがなく、UNDP の女性所得比率では、非農業部門における男性所得の 75% を女性所得として算出している。

合計特殊出生率

ある年次における再生産年令（15—49 才）の女性の年令別特殊出生率の合計。一人の女性が、その年次の年令別出生率で一生涯の間に生む平均子供数を表わす。

1 才未満乳児死亡率

出生 1000 に対する 1 才未満児死亡数の比率、すなわち 1 年間の 1 才未満児死亡数 ÷ 1 年間の出生数 × 1000。

5 才未満幼児死亡率

出生 1000 に対する 5 才未満児死亡数の比率、すなわち 1 年間の 5 才未満児死亡数 ÷ 1 年間の出生数 × 1000。

妊産婦死亡率

10 万人出産に対して、妊娠関連の原因で死亡した女性の年間あたりの人数。

出産介助率

医師、看護婦、助産婦、訓練を受けた公衆衛生従事者、あるいは訓練を受けた伝統的な助産婦のもとに出産をする割合。

低体重児率

2500 グラム以下で生まれた新生児の割合。

経口補水療法(ORT)使用率

5 才未満児の下痢に対して経口補水塩または代替溶液が使用される比率。

小中学校就学率

総就学率(または粗就学率)は学齢に関係なく就学している生徒数が学齢相当人口に占める割合。

純就学率は学齢相当の就学数が学齢相当人口に占める割合。